

SIP-adus Workshop 2021



Cybersecurity

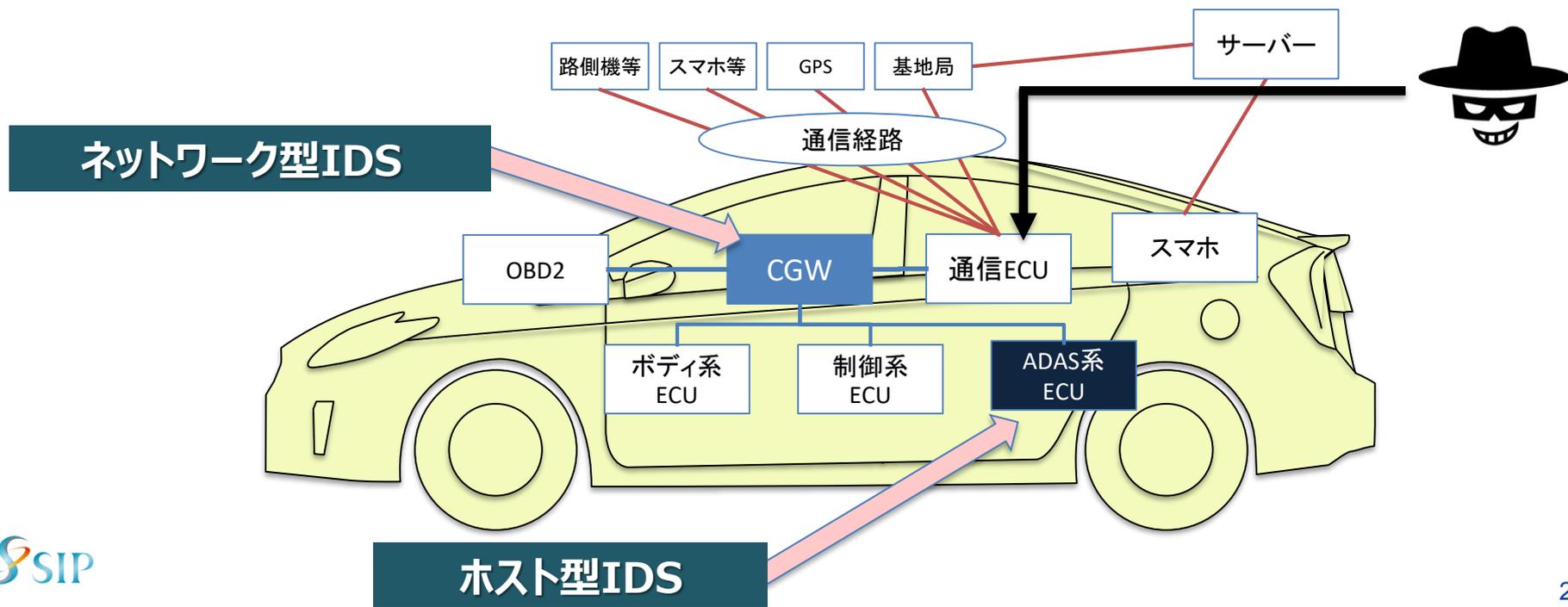
サイバーセーフな自動運転の実現にむけたIDSの活用

J-Auto-ISAC / トヨタ自動車 上原 茂

- ◆ IDSは Intrusion Detection Systemの略で サイバー攻撃によるシステムへの侵入を検知するシステム。
昨年のSIP workshopでこの重要性と有効性は確認済。
- ◆ ITインフラ系システムでは普及が進んでおり、車載システムとしては今後、搭載が拡大される事は確実。

IDSについて

- ◆ 種類として大きくは NIDS（ネットワーク型）と HIDS（ホスト型）がある。
- ◆ 侵入検知方式としてシグネチャーベース、仕様ベース、アノマリーベースがある。



- ◆ UNECE WP29にて検討中の国連法規UNR155では、サイバー攻撃を検知し対処する事が規定され 各OEMはその法規対応について具体的に説明する事が求められる。
- ◆ サイバー侵入の検知だけに留まらず 侵入検知後の初動対応にどうつなげるかが重要。
- ◆ IDSは各OEMにとって 車両出荷後のセキュリティ対策の起点となる存在と言える。

講演者紹介

- ◆ Mr. Nishant Khadria
Director, Risk Advisory, Deloitte Germany
- ◆ 韓 欣一
Associate, PwC Consulting
- ◆ 川名茂之
日本自動車工業会 電子安全性分科会長
- ◆ Dr. Frank Kargl
Professor, Ulm University, Germany
- ◆ Dr. 松本 勉
横浜国立大学 教授

SIP-adus Workshop 2021

セッションスタート